

「子どもたちの応援団」

PTA 会長 吉川 佳江

特別支援学校に通う我が子たちは不器用なところが多いです（そこが愛らしい）。

在学中にたくさんの成功と失敗を繰り返し、スモールステップながら確実に社会へ出る階段を上っていきます。この失敗を怖がらずまわりの励まし、見守りの中、“やってみよう”の気持ちが芽生えることは親としてとても嬉しく思います。

そんな子どもたちの応援団としてPTAが出来ること。それは保護者への情報提供（行政・福祉・支援方法など）や保護者同士がつながることが出来るきっかけ作りではないかと考えています。子どもの成長ごとに親は情報を集め、判断し、進むべき道を子どもとともに模索します。その判断を相談する先として家族・学校に加え、同じ支援学校に通

う同志である保護者。不器用な子を持つ保護者だからこそ話せる、共感しあえることがあるのではないのでしょうか。ぜひ PTA を活用していただきたいと思います。

私たち PTA は、学校と同じ方向を向きながら伴走し、子どもたちを応援する（見守る）存在でありたい。今年度も会員のみな様の声を聞きながら無理のない範囲での活動を考えています。日々お忙しいとは思いますが、ご理解・ご協力よろしく願いいたします。